

いわき民報

行所
いわき民報社
平市田町一丁目電話三八一
印刷部 八千輝克巴
日刊 但月曜を除く
定価一ヶ月八円一年九十

四月選挙、に終幕

榮冠は果してたれに

四月選挙の最後の華と咲いた市町村選挙並に縣會議員選挙もいよいよ大詰となった三十日は、あの大混戦の大混戦の気分をそのまゝ表像するが如き前日未だの強風のなぐりと共に完全に終止符が打たれ市町村はさびしいばかりの静寂さに陥つた、市會四十七名候補を始め縣會町村會の各候補の運命は如何に、午後正六時投票を締切ると共に即時夜の八時から玉手箱は開かれた、かくてまる一ヶ月に亘りこゝにまつた四月選挙はとどこおりに示して、この分ならば棄権一割台に食いこめられたものとみられてゐる。

夜半に一切判明

縣市會、町村も

投票は午後六時一齊にの判明豫定時刻左のと締切られたが、運命の玉手箱は即時八時から各町村とも開くことになつてゐる、平市の新市議および縣議の顔は夜半零時半頃には判るが、郡選出縣議および町村議員の新顔も遅くも明曉四時半頃までは大勢が判明される豫定である、各町

順調な出足

正午現在に五割突破

四月選挙もいよいよ大に縣議戦だけにせん戦となつた、亂戦、混民の意気込みも鋭く出戦のせん勢分を表象足極めて順調で平市の戦うがごとき前日未だの正午現在の投ひよう成強風もいつか和むたは左の通りで縣議戦のり三十日はうすくもるが有権者一萬六千二百といえ眞に無風にして七十三名對し八千五百温い投票日和に恵まれ六十七名で五割二分六たかて、加えて衆議院、市會は有権者一萬議員や參議院議員せん五千九百八十一名に對し、市郡民の生活し八千五百八十七名でに直結する市町村並五割三分七厘の好調ぶ

快調

棄権は一割台か、なと小名濱と黒ダ、の街内郷、工場街の各町における午前十時現在の投票成績はさつがわられたの縣議と町議の選挙だけあつて出足は快調、郡全体で三割強に達した、この調子でゆくとな郡の棄権も

投票所風景

▲ミナチヤマ
▲シクワワ
▲クシクシ
▲ガイヒョウ
▲シカイギン
▲選挙スル日
▲デス
▲ケンをこな
い下さいと市内南町の子供たちは小さなかく横様、町のかんそくによると棄権は一割二、三分程度、▲内郷町一増炭戦士の街で有権者は二萬六千四百三十二名、午前十時現在の投票成績は三割強で物凄いく快調ぶりを示して、この分ならば正午に對して投票数は百七十分には五割七、八人に達した、殊にお分に達する模様、殊百姓さんの選挙熱は女性に投票が目立つ、押すな、の盛況ぶり

調査を討つて逃走

▲小名濱ヒストル犯人三三三郎
去る三月十七日窃盗犯人として小名濱警部補派出所で取調中ガラス戸を蹴破り逃走したヒストル犯人小名濱町漁夫角三五郎(三)の消息は否として不明だつたが二十八日夜十時頃郷里八戸市湊町荒谷喜與志方に立ちまわつたことが判つたので手配、八戸署田中重太郎巡査が速捕にむかつたところ例のヒストルで同巡査の腹部射ち重傷を負果すべし、選挙民に不せ情報の荒谷ふみ(三)信を教えること勿れと

言すきわい

▲四月選挙も完全きよらに
▲あすからはいよいよ選挙気分を一番生りに
▲果して新市議の顔觸れはどんなか、玉手箱の開函が待ち遠しい
▲新市議も新縣議も市郡民との公約に完全に果すべし、選挙民に不せ情報の荒谷ふみ(三)信を教えること勿れと

縣議二割町村議一割七分程度でとどまるものとみられてゐる、▲小名濱町一みなどだけあつて有権者も二萬五千五百五十七名、午前十時現在の投票数は四割強の四千七百名で出足は快調、この調子ならば午後四時までは大半片付く模様、町のかんそくによると棄権は一割二、三分程度、▲内郷町一増炭戦士の街で有権者は二萬六千四百三十二名、午前十時現在の投票成績は三割強で物凄いく快調ぶりを示して、この分ならば正午に對して投票数は百七十分には五割七、八人に達した、殊にお分に達する模様、殊百姓さんの選挙熱は女性に投票が目立つ、押すな、の盛況ぶり

